

# 消費者志向経営を目指して



三和電業グループ

# 三和電業グループの概要

本 社：香川県高松市太田下町2580番地3

創 業：1948年(昭和23年)4月

創 立：1953年(昭和28年)12月

代表者：代表取締役社長 山地 一慶

資本金：1億8,000万円

年 商：76億7,900万円

社員数：162名

2021年8月現在(日本4社)

国内主要事業所：香川・徳島・東京・大阪

福岡・福島 計14事業所

中国：三和科技(蘇州)有限公司、三和工程設備(蘇州)有限公司、三和技研(蘇州)有限公司



創業当時の社屋

# 日本4社の紹介

## 三和電業株式会社

電気設備を中心とした総合設備エンジニアリング

- ・電気設備
- ・消防施設
- ・通信設備
- ・給排水衛生設備
- ・計装設備
- ・空調換気設備



## SPEC 三和プラントエンジニアリング株式会社

設備工事とシステムのエンジニア集団

- ・プラント総合設備
- ・計装制御設備
- ・通信設備
- ・光ネットワーク設備
- ・制御盤の設計・製造
- ・FAパッケージソフト開発・販売



## 三和空調株式会社

特殊空調のエキスパート集団

- ・空気調和設備
- ・冷凍設備
- ・クリーンルーム関連設備
- ・HACCP関連設備
- ・給排水衛生設備
- ・電気計装設備



## 三和エコ&エナジー株式会社

環境事業のプロフェッショナル集団

- ・太陽光発電設備
- ・環境設備工事
- ・省エネ設備及びエンジニアリング
- ・電気設備
- ・計装設備



高いレベルの工事品質をご提供できるよう全社一丸となって様々な施工検討、中間・竣工検査を実施しています。



# 消費者志向自主宣言について

## 工事依頼

お客様であるゼネコン様、  
施工様から



## 三和電業グループ



## 工事完成



我々のお客様は企業  
様、消費者との接点  
は少ないが…。



たくさんの人々に長く使われる施設、建物、設備

持続可能な社会の



構築事業



われわれが施工した施設を利用されるのは、**最終消費者**である皆さまです。



### 理念

三和電業グループは、経営の最大目的を『人材育成』として  
1981年に「グループ経営理念」を作成しました。  
仕事を通して「4つの柱」で「5つの社会」に貢献し、その歓びで  
全社員が日々にいきいきと成長し、活力あふれる企業となること  
を目指しています。



## 経営理念

われら技術の三和電業グループ社員たる誇りと自覚に燃え

日々の業務に限りない感謝の心を注ぎ

会社と一体となって行動し

いま この場をいきいきと生き抜き

而して 5つの社会に貢献するを以って 活力あふるゝ企業とならん

### 4つの柱とは

1. 技術を高める柱
2. 限りない感謝の心を高める柱
3. 一体感を高める柱
4. 今この場の感覚を高める柱

### 5つの社会とは

1. お客様と共に広がる社会
2. 我々を日々支えてくださる多くの協力者の社会
3. 共に努力し歓びを分かち合う、仲間（社員）の社会
4. 我ら一人ひとりを誰よりも物心両面で支えてくださる家族の社会
5. 上記4つの社会に貢献する基は自分であり、自分自身の社会

経営理念に基づき  
お客様志向をさらに強化・推進するために

2021年4月

## 「消費者志向自主宣言」

を制定いたしました。



## 取組方針

### 1. 経営トップのコミットメント

『日々の業務を通して地球と人にやさしい環境を創り続ける』

この思いを常に意識し、技術者集団としてお客様と共に環境負荷の低減や資源の有効活用に役立つ設備技術を継続して創り出し、住み良い街づくりに貢献していきます。

また、安定的且つ継続的な企業経営を実現する重要課題として「SDGs」の推進に積極的に取り組んで参ります。



## 2. 社員意識の醸成

わたしたちは定期に社員意識調査を実施し、「お客様志向」が極めて高い集団としての評価を頂いています。

先輩から部下へのOJTをはじめ、新人研修・中途採用者研修・幹部研修・TOP研修他各種勉強会等、技術・意識向上の為に様々な研修を積極的に取り入れ実施しています。

また、次世代の人材育成の為の奨学金及び奨学金支援制度、社会奉仕活動として税引後利益の5%を社会奉仕金とする寄付活動、工事業界活性化のための講演活動等、更に工事現場では「安全」が最優先、知識を深め意識を高める「安全大会」の開催を定期に実施しています。



### 3. 環境に配慮した事業活動への取り組み

環境に優しく、人にも優しい設備というものを常に意識し、快適な空間づくりに努めています。

またCO<sub>2</sub>削減など地球温暖化対策として、省エネルギー・高効率製品活用の他、太陽光発電設備等再生エネルギー事業の推進も積極的に行ってています。また自社設備としての太陽光発電所建設も行い、環境負荷の低減にも取組んでいます。目まぐるしい技術進歩の中、常にお客様に最適最良の技術を提供することで、社会に必要とされる総合設備エンジニアリング企業として取り組んでまいります。



### 4. 人が育つ組織作り

『企業は人なり』

若手からベテランまで社員一人ひとりが私たちの財産です。

社員一人ひとりの高い経営者意識が当グループの最大の強みとして

「全社員経営参加」をスローガンにグループ方針を策定し、各種研修会・勉強会等を通して組織の強靭化に取り組むと共に、個々人の幸せというものにも焦点を当てた研修も行っており、人材育成というものを広い観点で捉え推進をしています。

# 三和電業グループ 事業概要について

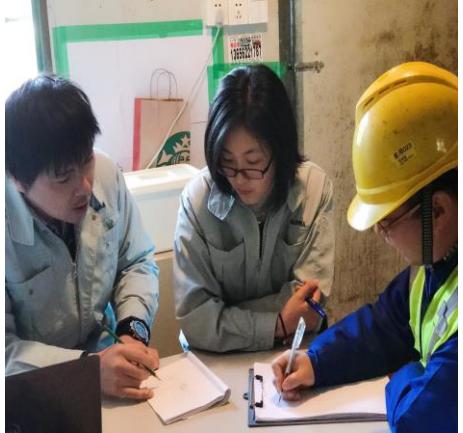
三和電業グループは、総合設備工事を行う企業です。

電気・空調・給排水衛生等すべての設備工事分野をはじめ  
プラント設備・FAシステム・特殊空調システム等の先端技術に  
至る幅広い分野を担う総合設備工事業です。

# 総合設備工事業



三和電業グループ

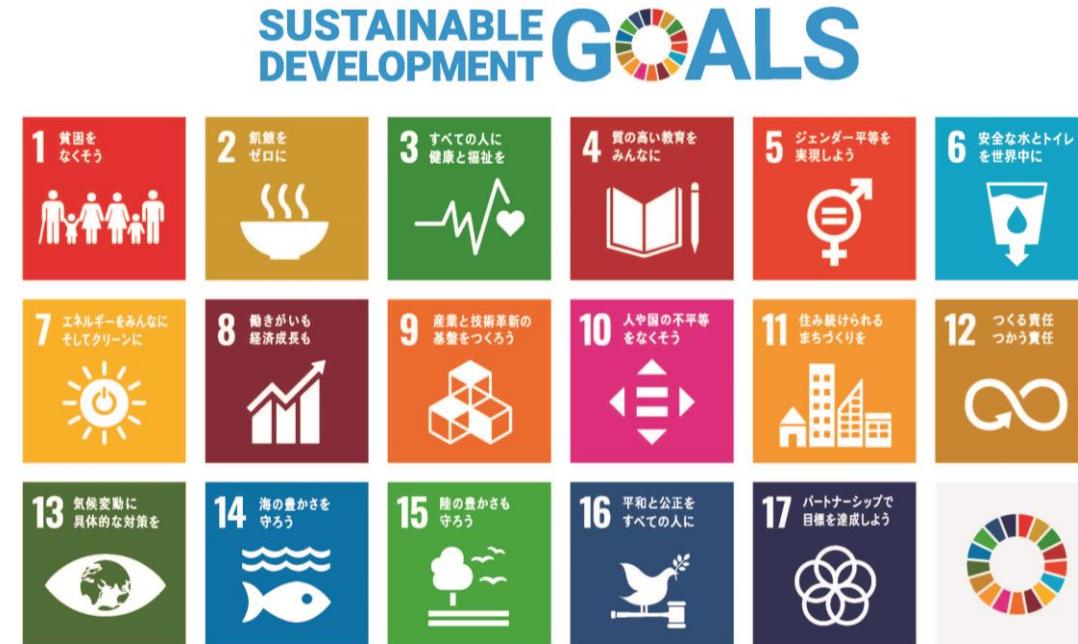


# 太陽光発電設備



# 私たちの主な取り組み

# SDGsの推進について



当社グループ経営計画の中で国連が定める持続可能な開発目標「SDGsの達成」を目標の一つとして取り入れています。

企業は社会的責任を果たしながら持続可能な社会へ向けた活動に取り組まなければなりません。その意味で企業の消費者志向経営の推進はSDGsの達成につながると考えています。

# 地球が直面している『環境問題』に対する取り組み

日本… 2030年度に温室効果ガス

**46%減** (2013年度比)

政府発表

カーボンニュートラル実現に  
向けて

2050年

**実質ゼロ**

**再生可能エネルギー**  
の導入





お客様の**脱炭素社会**に向けての意識が高まり  
**とくに環境事業**（温暖化防止・省エネルギー）にも積極的に取り組んでいます。

# 自社の環境事業の取り組み



## ■自社太陽光発電所を保有(発電総出力4.4MW)



国分寺発電所

年間発電量(kwh)	年間CO2削減量(t)
5,726,907	3,287



豊浜発電所

CO<sub>2</sub>削減量については、排出係数として2020年度実績値である0.574kg-CO<sub>2</sub>/Kwh（四国電力）で算出しています。  
(2022年1月環境省・経済産業省公表)

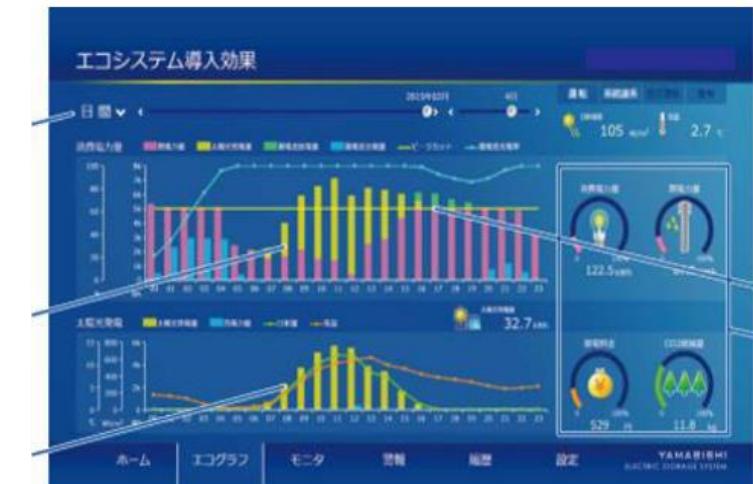
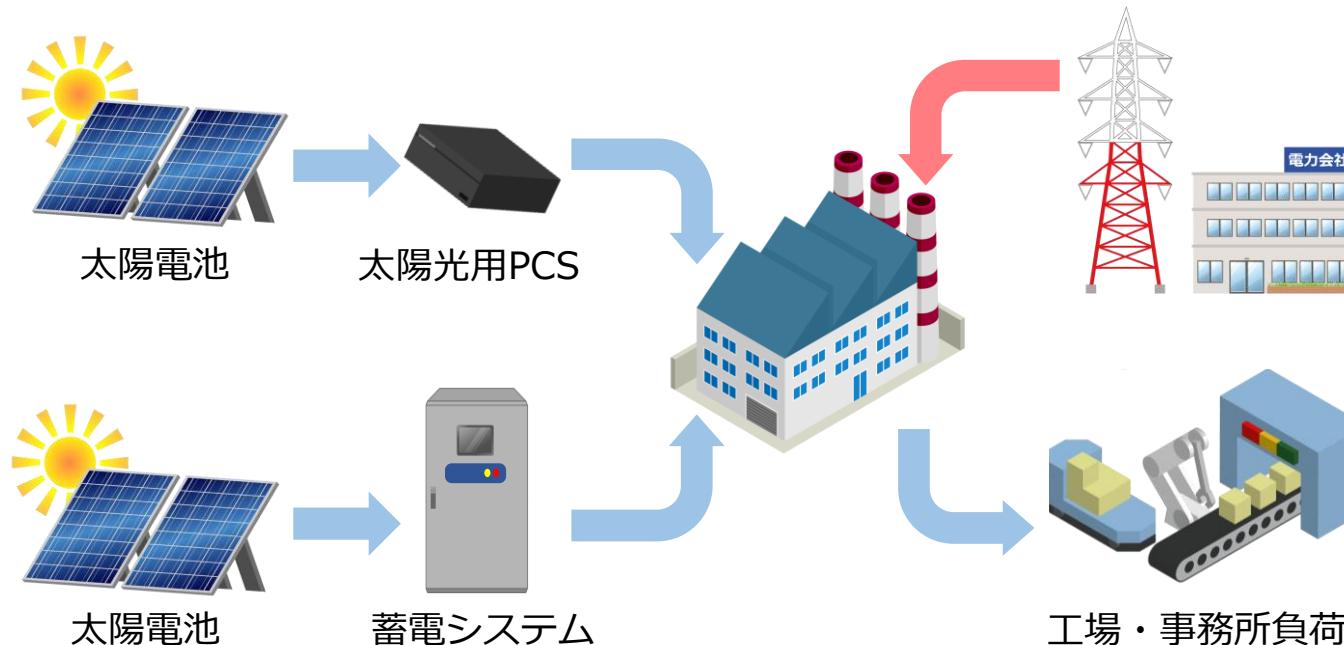


# お客様への環境対策支援

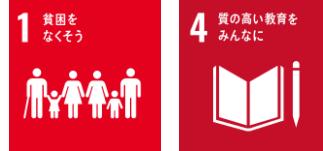


## ■ 太陽光発電 + 蓄電システムで省エネ・BCP対策

自家消費型太陽光発電 + 蓄電システムで、電気代削減、CO<sub>2</sub>削減をご提案。  
BCP（事業継続計画）対策として、災害時などでも施設の重要負荷に  
対して継続的に電気の供給ができるようになります。



# 社会奉仕活動



毎年、グループ各社の税引き後利益の5%相当金額を社会貢献活動に継続して拠出しています。

## 新型コロナウイルス感染症対策支援



高松市

お名前	内容
高松市保健福祉局	医療用ガウン
高松市教育委員会	手指用消毒液
香川県	医療用ガウン
徳島県	フェイスシールド
香川大学	奨学基金
徳島大学	奨学基金
香川高等専門学校	奨学基金
採用高校10校	手指用消毒液

## 災害支援・ 感染症対策



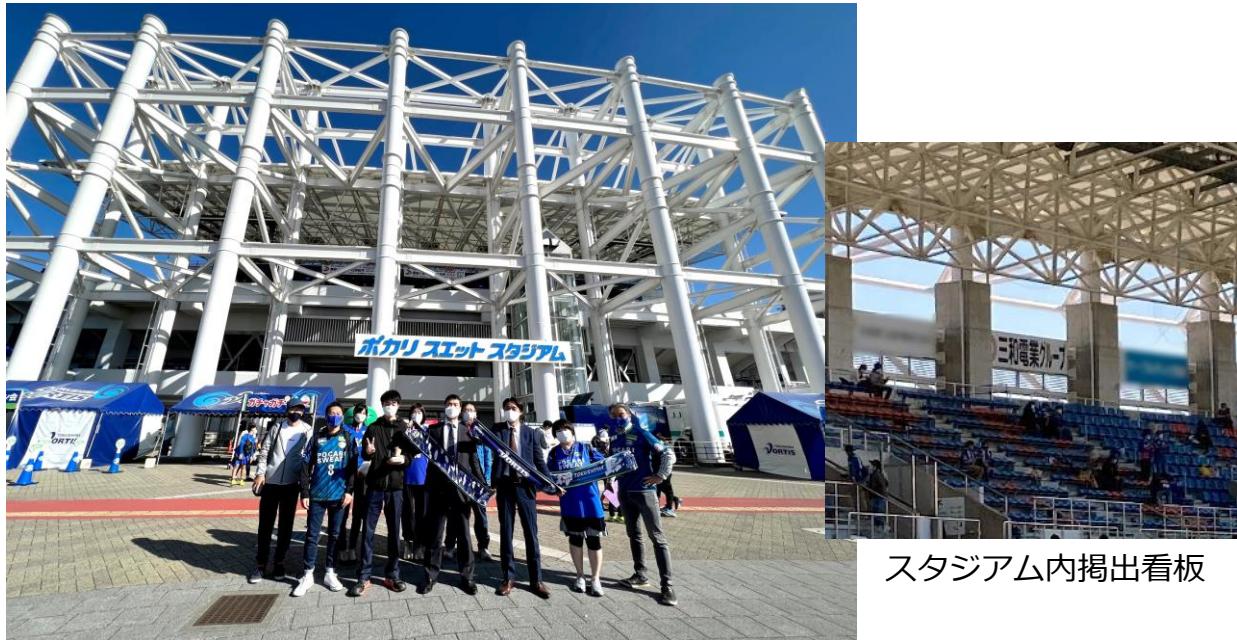
支援先は各拠点の社員自らが選び、お届けし、全社員参加の意識で地域社会をサポートしています。

# 地域スポーツへの貢献活動



グループ各社にて、地域スポーツチームのスポンサー活動など  
地域活性化に向けた活動を**積極的**に行ってています。

## J.LEAGUE 徳島ヴォルティス



スタジアム内掲出看板

社員の試合観戦（2021年）

## B.LEAGUE 香川ファイブアローズ



スポンサーのぼり

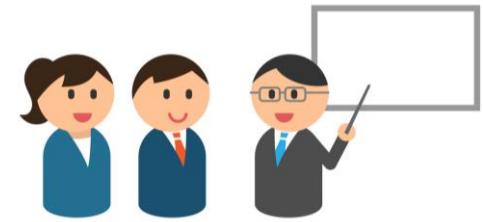


選手の皆さんと交流

# 次世代を担う青少年の育成に向けて



地元の高校、高専、大学などに対し、講演・インターンシップ・職場見学などを実施しています。独自の奨学基金の創設、寄付も継続しています。



## 香川高等専門学校 奨学基金制度創設



奨学基金贈呈式（2021年）

## 学生向け講演会



香川高等専門学校 高松キャンパス（2020年）

## インターンシップ



# 安全大会の実施

12  
つくる責任  
つかう責任17  
パートナーシップで  
目標を達成しよう

工事現場において最も優先すべき安全について、知識と意識を深め、より安全な現場作りと労働災害事故を起こさない決意を固めるための集まりです。



安全大会では救命講習、交通安全教習なども開催



各社拠点へAEDを設置

**「無事故・無災害の達成」**に向けた安全活動の大きな柱となっています。

# 社員教育の実施



先輩から後輩へのOJTをはじめ、新入社員研修・中途採用者研修・幹部研修・TOP研修他各種勉強会等、技術・意識向上の為に様々な研修を積極的に取り入れ実施しています。



全社員が学ぶTOP研修（2021年）



新入社員研修（2021年）



協力会社も交えたフルハーネス型安全帶  
使用作業特別教育（2019年）



経営方針発表会（2019年）

社員も社会の一員です。

当社の「経営理念」は、日々**技術を磨き**、社員であることに**誇りをもち**、仕事に対し**限りない感謝の心**で取組む中で、会社と**一体**となって行動することで、社員が**いきいきと成長**することを目的としています。これにより**社会に貢献**する**活力あふれる企業**になるというものです。

このように**「人材育成」**を最大目的とし、自ら主体的に自己投資を行い、高い技術・高い品質をご提供できる風土作りを大切にして**『消費者志向経営』**に取り組んでいます。

ご清聴ありがとうございました。

